

第6学年1組 国語科学習指導案

平成28年 6月23日(木) 2校時  
 指導者 教諭 井上 竜一  
 場 所 6年教室

1 本研究授業の提案

四つの投書を読み比べる活動を通して筆者の工夫に気付かせ、自分の考えを発表し合い交流することで、より考えを深めさせる。

2 本研究の授業技術課題

本時のねらいに迫ることができるように、精選して発問を行う。

3 単元名 新聞の投書を読み比べよう

4 単元の目標

四つの投書を読み比べ、文章に表されている書き手の工夫について読み取り、自分の考えを書くことができるようにする。

5 指導計画(本時 3/8時間)

時	主な学習活動	単元の評価規準
①	○学習の見通しを立てる。 ・四つの投書を読み、大まかな内容をつかむ。 ・投書の書き方を知り、自分で投書を書くという学習の見通しを立てる。	【関心・意欲・態度】 新聞の投書に関心を持ち、進んで内容を調べたり自分で書いたりしようとしている。
②	○投書①～④を読み比べる。 ・読み手を説得するために、筆者は文章の構成を工夫していることについて考える。	【読むウ】 筆者の文章構成の工夫を読み取っている。
③	・読み手を説得するために、筆者は理由の付けの仕方や根拠の挙げ方を工夫していることについて考える。(本時)	【読むウ】 筆者の根拠の挙げ方の工夫を読み取っている。
④	・投書①～④の中から自分が納得するものを選び、理由をまとめ、友達と伝え合う。	【読むオ】 自分が納得した投書の理由を発表し合うことで自分の考えを深めている。
⑤	○投書に書く内容を考え、投書を書く。 ・「予想される反対意見に対する反論」の部分の書き方について考える。	【書くイ】 効果的な反論の書き方を話し合い、書いている。
⑥⑦	・実際に投書を書く。	【書くウ】 学習したことを基にして、新聞への投書を書いている。
⑧	○お互いの投書を読み合い、交流する。	【書くカ】 書いた投書を発表し合い、友達の意見を読み取りながら助言し合っている。

6 本時の展開

(1) ねらい

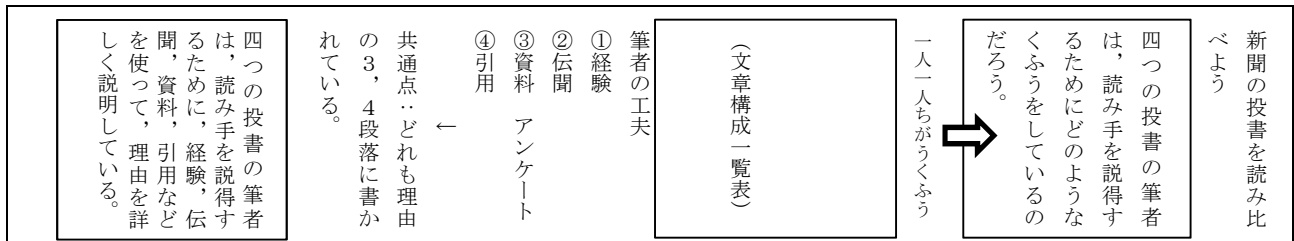
読み手を説得するために、筆者は理由の付けの仕方や根拠の挙げ方を工夫していることについて考える。

(2) 指導過程

学習活動	指導事項・留意点・評価
1 前時の内容を振り返る。 ・読み手を説得させるために、筆者は段落の構成を工夫し、分かりやすい文章を書いていた。 ・自分の意見を最初と最後の2回書くことで、自分の考えをより伝えようとしていた。	・文章構成一覧のワークシートで確認させる。

<p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p><b>四つの投書の筆者は、読み手を説得するためにどのように工夫をしているのだろう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時と同じ学習問題であるが、違う工夫を見つけること、また、前時はどの筆者にも共通した工夫であるが、本時は一人一人違うことを知らせる。</li> </ul>															
<p>3 ①の投書について、全体で分析する。</p> <p>○主張は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体に無理な負担をかけてまでスポーツをすることはない。</li> </ul> <p>○理由は何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの目的に反する。</li> <li>・成長期に若者は体をこわしやすい。</li> </ul> <p>○筆者はどんな工夫をしているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の中学時代のことを書き、理由を詳しく説明している。(経験)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫に気付くことができるように、主張、理由、筆者の工夫というように段階を踏んで分析を行う。</li> <li>・前時のワークシートを基にして、工夫が書かれている部分を見つけ、記入させる。</li> </ul>															
<p>4 ②③④の投書について、個人で分析する。</p> <table border="1" data-bbox="151 660 885 940"> <tr> <td>限界まで努力することに価値がある</td> <td>楽しんでするものそれがスポーツ</td> <td>勝利を求めてこそスポーツに意味がある</td> <td>限界を超えた投球には疑問</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③④</td> <td>③④</td> <td>④</td> <td>④</td> <td>工夫が書かれている段落</td> </tr> <tr> <td>有名人のことは引用して書く。</td> <td>アンケートをとって数字を書く。</td> <td>見たり聞いたりしたことを書く。</td> <td>自分の経験を書く。</td> <td>筆者の工夫</td> </tr> </table>	限界まで努力することに価値がある	楽しんでするものそれがスポーツ	勝利を求めてこそスポーツに意味がある	限界を超えた投球には疑問		③④	③④	④	④	工夫が書かれている段落	有名人のことは引用して書く。	アンケートをとって数字を書く。	見たり聞いたりしたことを書く。	自分の経験を書く。	筆者の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その工夫を一文で表すとしたらどのように表現したらよいか考えさせ、「筆者の工夫」の欄に記入させる。</li> <li>・工夫を見つけることができない児童には、投書①ではどこに工夫が書いてあったかを確認させ、投書②～④にも同じ場所に工夫がないかどうかを考えさせる。</li> </ul> <p>&lt;評価&gt;読み手を説得するための筆者の工夫について考え、適切なことばで表現することができたか。</p>
限界まで努力することに価値がある	楽しんでするものそれがスポーツ	勝利を求めてこそスポーツに意味がある	限界を超えた投球には疑問													
③④	③④	④	④	工夫が書かれている段落												
有名人のことは引用して書く。	アンケートをとって数字を書く。	見たり聞いたりしたことを書く。	自分の経験を書く。	筆者の工夫												
<p>5 ペア学習で、見つけた工夫について交流する。</p> <p>○筆者の工夫についてお互いに発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「筆者の工夫」をどのようにまとめたか、自分と友達の意見の共通点と相違点について考えさせる。</li> </ul>															
<p>6 見つけた工夫について、全体で共有する。</p> <p>○筆者の工夫について、どのようなことばでまとめたらいいか。</p> <p>①経験 ②見たこと聞いたこと 伝聞 ③資料 アンケート ④引用 有名人のことば</p> <p>○これらの工夫の共通点はなにか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「理由」の3、4段落に書かれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫の内容について確認し、その工夫を何と呼んだらよいかを考えさせる。</li> <li>・どの工夫も理由の段落に書かれており、理由を詳しく説明することで、読み手をより説得できることを確認する。</li> <li>・単元の終末において、自分で投書を書く時にも活用できることを知らせる。</li> </ul>															
<p>7 本時のまとめをする。</p> <p><b>四つの投書の筆者は、読み手を説得するために、経験、伝聞、資料、引用などを使って、理由を詳しく説明している。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題に対しての振り返りの形で、本時のまとめを行う。</li> <li>・次時では自分が納得するものを選び、理由をまとめ、友達と伝え合うことを知らせる。</li> </ul>															

(3) 板書計画



(4) 本時の評価

<p>具体的評価基準</p>	<p>読み手を説得するための筆者の工夫について考え、それぞれの投書から見つけることができる。(観察・ワークシート・発言)</p>
<p>Aと判断する姿</p>	<p>読み手を説得するための筆者の工夫について考え、適切なことばで表現することができる。(観察・発言)</p>
<p>Cへの手だて</p>	<p>全体で分析した①の投書を基にして、筆者の工夫を見つけさせる。</p>